

今回のテーマは・・・『生ゴミ処理機』です。

住宅設備機器「トステム」が高崎市にオープンしたショールームに先日行ってきました。水回り設備以外にも窓の高さによる採光の違いや窓の形状による通風の違いが確認できる実験コーナーもあり、楽しめます。中でも興味深かったのが「生ゴミ処理機」付きシステムキッチンです。

エコキッチン

システムキッチンのシンクの下に生ゴミ処理機が設置されています。通常の排水口にごみを投入すると、スピーディーに粉砕、次に粉砕した生ゴミを水と生ゴミに分離します。固形物だけを加熱乾燥。24時間後には1/20まで減量化します。減量化したゴミは有機肥料として利用可能。ランニングコストは1カ月電気代約700円。水道代30円。年1回以上の有償メンテナンスも必要とのことですが生ゴミが軽減できる点は非常に便利な商品と思います。

生ゴミ処理機補助金

前橋市では家庭内で発生する生ゴミの減量とリサイクルを推進するため、生ゴミ処理容器、電動式生ゴミ処理機の購入費用の一部を助成しています。

1. 生ゴミ処理容器は微生物の活動を利用して生ゴミを分解し肥料にする容器で補助金額は購入費の1/2（限度額5000円）
2. 電動式生ゴミ処理機は生ゴミを乾燥、発酵、又は微生物の活動を利用して分解するもので補助金額は購入費の1/2（限度額30000円）

対象となる方や商品にも規定があるので個別に注意は必要です。

TOTO、食器洗い乾燥事業から撤退・・・9月末めど

TOTOは30日、食器洗い乾燥機の販売を9月末をめぐりに終了すると発表しました。同社は「国内市場の伸び率鈍化が要因」と説明している。2009年3月期の売上高は約10億円だった。販売済み製品の保守・修理などは継続すること。TOTOは1996年に食器洗い乾燥機市場に参入して以来、一時は国内シェア2位を占めるまでに成長した。ところが、開発コストの負担増などから2006年に家電量販店を通じた販売から撤退するなど、規模の縮小を進めてきた。

最近、住宅設備機器メーカーのショールームが高崎市は数多く新設されました。1日ではまわりきれないくらいです。お時間があるときは是非ご体感下さい。